

前 金	部 分 払
有	一 回

令和 4 年 度  
南 白 地 第 1 - 1 号

## 青山高原保健休養地崩落法面詳細設計等業務委託設計書

委託仕様は特記以外は業務委託共通仕様書（三重県）及び業務委託監督員の指示による。

津 市  
建設部津南工事事務所

令和4年度	南白地 第1-1号	業 務 委 託 設 計 書			
委託場所	津市白山町伊勢見地内			担当副参事	
				検算者	
委託名	青山高原保健休養地崩落法面詳細設計等業務委託			担当主幹	
				担当副主幹	
設計額	(うち消費税等相当額 )			設計者	
履行期間	令和5年1月13日限り				
長	—	巾	—		
業 務 の 大 要					
路線測量			0.03 km		
機械ボーリング			30 m		
一般構造物予備設計			1 式		
一般構造物詳細設計			1 式		

# 位置図

令和4年度南白地第1-1号  
青山高原保健休養地崩落法面詳細設計等業務委託



縮尺 1:30,000

## 業務数量総括表

	業務名	令和4年度南白地第1-1号 青山高原保健休養地崩落法面詳細設計等業務委託			当初	業種	測量業務
		項目	応用測量				
項目・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
応用測量		式		1			
路線測量		式		1			
路線測量		式		1			
作業計画		業務		1			
現地踏査	交通量による変化率0~1000台未満/1 2時間 [ 0.0]	式		1			
線形決定		km		0.03			
中心線測量	交通量による変化率0~1000台未満/1 2時間 [ 0.0] ; 曲線数による変化率単 曲線換算曲線数 0 [-0.1] ; 測点間隔 による変化率測点間隔 10m [+0.3]	km		0.03			
縦断測量	交通量による変化率0~1000台未満/1 2時間 [ 0.0]	km		0.03			

## 業務数量総括表

項目・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	業務名	当初	業種	測量業務
							令和4年度南白地第1-1号 青山高原保健休養地崩落法面詳細設計等業務委託		項目	応用測量
横断測量	交通量による変化率0~1000台未満/12時間 [ 0.0] ; 曲線数による変化率単曲線換算曲線数 0 [-0.1] ; 測量幅による変化率45m未満; 測点間隔による変化率10m [+0.6]	km		0.03						
共通		式		1						
共通		式		1						
打合せ等		式		1						
打合せ	中間3回	業務		1						
直接経費		式		1						
直接経費		式		1						
旅費交通費		式		1						

## 業務数量総括表

	業務名	令和4年度南白地第1-1号 青山高原保健休養地崩落法面詳細設計等業務委託			当初	業種	測量業務
		項目	直接経費				
項目・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
旅費交通費（率計上）（測量）		式		1			
電子成果品作成費		式		1			
電子成果品作成費（測量）		式		1			
直接測量費		式		1			
間接測量費		式		1			
諸経費		式		1			
測量業務価格		式		1			
一般調査		式		1			

## 業務数量総括表

項目・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
直接調査費		式		1		
機械ボーリング		式		1		
土質ボーリング(ノンコアボーリング)	地質礫混じり土砂; せん孔深度50m以下 [1.00]; せん孔方向鉛直下方 [1.00]; 孔径φ66mm	m		21		
岩盤ボーリング(オールコアボーリング)	地質軟岩; せん孔深度50m以下 [1.00]; せん孔方向鉛直下方 [1.00]; 孔径φ66mm	m		9		
サウンディング及び原位置試験		式		1		
標準貫入試験	地質礫混じり土砂	回		21		
標準貫入試験	地質軟岩	回		9		
室内試験(土質試験)		式		1		

## 業務数量総括表

		業務名	令和4年度南白地第1-1号 青山高原保健休養地崩落法面詳細設計等業務委託			当初	業種 項目	地質調査業務(一般調査) 一般調査
項目・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要		
土粒子の密度試験		試料		3				
土の含水比試験		試料		3				
土の粒度試験		試料		3				
電子成果品作成費		式		1				
電子成果品作成費(機械ボーリング)		式		1				
検定費等		式		1				
検定費等		式		1				
間接調査費		式		1				



## 業務数量総括表

項目・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
運搬費		式		1		
運搬費		式		1		
準備費		式		1		
準備及び跡片付け		式		1		
調査孔閉塞		式		1		
給水費 (ポンプ運転)		式		1		
仮設費		式		1		
足場仮設		式		1		

## 業務数量総括表

項目・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
旅費交通費		式		1		
旅費交通費（率計上）		式		1		
純調査費		式		1		
間接費		式		1		
諸経費		式		1		
一般調査業務価格		式		1		
解析等調査		式		1		
直接業務費		式		1		

## 業務数量総括表

項目・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	業務名	当初	業種	地質調査業務（解析等調査）
							令和4年度南白地第1-1号 青山高原保健休養地崩落法面詳細設計等業務委託		項目	解析等調査
解析等調査		式		1						
解析等調査	土質ボーリング本数3本; 試験種目数0 ~3種 [1.00]	式		1						
共通		式		1						
共通		式		1						
打合せ等		式		1						
打合せ	中間1回	業務		1						
直接経費		式		1						
直接経費		式		1						

## 業務数量総括表

項目・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
旅費交通費		式		1		
旅費交通費（率計上）		式		1		
直接原価		式		1		
その他原価		式		1		
業務原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
解析等調査業務価格		式		1		
道路設計		式		1		

## 業務数量総括表

項目・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
令和4年度南白地第1-1号 青山高原保健休養地崩落法面詳細設計等業務委託						
項目						道路設計
一般構造物設計		式		1		
一般構造物予備設計		式		1		
擁壁・補強土	箇所数1箇所; 概略設計計算等の簡略化 簡略化できる [-20%]	(箇所) 式		1		
一般構造物詳細設計		式		1		
補強土 [テールアルメ、多数アンカー式 擁壁]	スベリ安定計算行う; 増減率適用条件 予備設計で概略設計計算済 [-10%]; 設計断面数1断面; 現地踏査ヶ所数1ヶ 所	(箇所) 式		1		
共通		式		1		
共通 (設計業務)		式		1		
打合せ等		式		1		

## 業務数量総括表

項目・工種・種別・細別	業務名 令和4年度南白地第1-1号 青山高原保健休養地崩落法面詳細設計等業務委託	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	業種
							項目
打合せ	初回・納品、中間5回	業務		1			土木設計業務 共通
直接経費		式		1			
直接経費		式		1			
旅費交通費		式		1			
旅費交通費（率計上）（設計）		式		1			
電子成果品作成費		式		1			
電子成果品作成費（設計）		式		1			
直接原価		式		1			

## 業務数量総括表

	業務名	令和4年度南白地第1-1号 青山高原保健休養地崩落法面詳細設計等業務委託			当初	業種	設計業務
		項目	その他原価				
項目・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
その他原価		式		1			
業務原価		式		1			
一般管理費等		式		1			
設計業務価格		式		1			
業務価格		式		1			
消費税相当額		式		1			
業務費計		式		1			

令和4年度 南白地第1-1号

青山高原保健休養地崩落法面詳細設計等業務委託

数量総括表

レベル1 : 応用測量  
レベル1 : 共通  
レベル1 : 直接経費  
レベル1 : 一般調査  
レベル1 : 解析等調査  
レベル1 : 直接経費  
レベル1 : 共通  
レベル1 : 設計・解析・調査  
レベル1 : 共通  
レベル1 : 直接経費



工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
応用測量					式	1	
	路線測量				式	1	
		路線測量			式	1	
			作業計画		業務	1	
			現地踏査	原野 丘陵地	km	0.03	1000台未満/12h
			線形決定	原野 丘陵地	km	0.03	1000台未満/12h
			中心線測量	原野 丘陵地 測点間隔10m	km	0.03	1000台未満/12h
			縦断測量	原野 丘陵地	km	0.03	1000台未満/12h
			横断測量	原野 丘陵地 測点間隔10m 幅40m	km	0.03	1000台未満/12h
共通					式	1	
	共通				式	1	
		打合せ等			式	1	
			打合せ	中間3回	業務	1	
直接経費					式	1	
	直接経費				式	1	

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
		旅費交通費			式	1	
			旅費交通費(率計上)(測量)		式	1	
		電子成果品作成費			式	1	
			電子成果品作成費(測量)		式	1	
一般調査					式	1	
	直接調査費				式	1	
		機械ボーリング			式	1	
			土質ボーリング(ノコアボーリング)	Φ66mm 礫混じり土砂	m	21	
			岩盤ボーリング(オールコアボーリング)	Φ66mm 軟岩	m	9	
		サンディング及び原位置試験			式	1	
			標準貫入試験	礫混じり土砂	回	21	
			標準貫入試験	軟岩	回	9	
		室内試験(土質試験)			式	1	
			土粒子の密度試験	1試料につき3個	試料	3	
			土の含水比試験	JIS A 1203 1試料につき3個	試料	3	

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
			土の粒度試験	試料 0.5kg 未満	試料	3	
		電子成果品作成費			式	1	
			電子成果品作成費(機械ホ-リング)		式	1	
		検定費等			式	1	
			検定費等		本	3	
	間接調査費				式	1	
		運搬費			式	1	
			運搬費		式	1	
		準備費			式	1	
			準備及び跡片付け		式	1	
			給水費(ポンプ運転)		式	1	
		仮設費			式	1	
			足場仮設		式	1	
		旅費交通費			式	1	
			旅費交通費(率計上)		式	1	

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
解析等調査					式	1	
	直接業務費				式	1	
		解析等調査			式	1	
			解析等調査	土質ホ <sup>テ</sup> -リング <sup>グ</sup> 3本 試験種目0~3種	式	1	
共通					式	1	
	共通				式	1	
		打合せ等			式	1	
			打合せ	中間1回	業務	1	
直接経費					式	1	
	直接経費				式	1	
		旅費交通費			式	1	
			旅費交通費(率計上)		式	1	
道路設計					式	1	
	一般構造物設計				式	1	
		一般構造物予備設計			式	1	

工 事 数 量 総 括 表

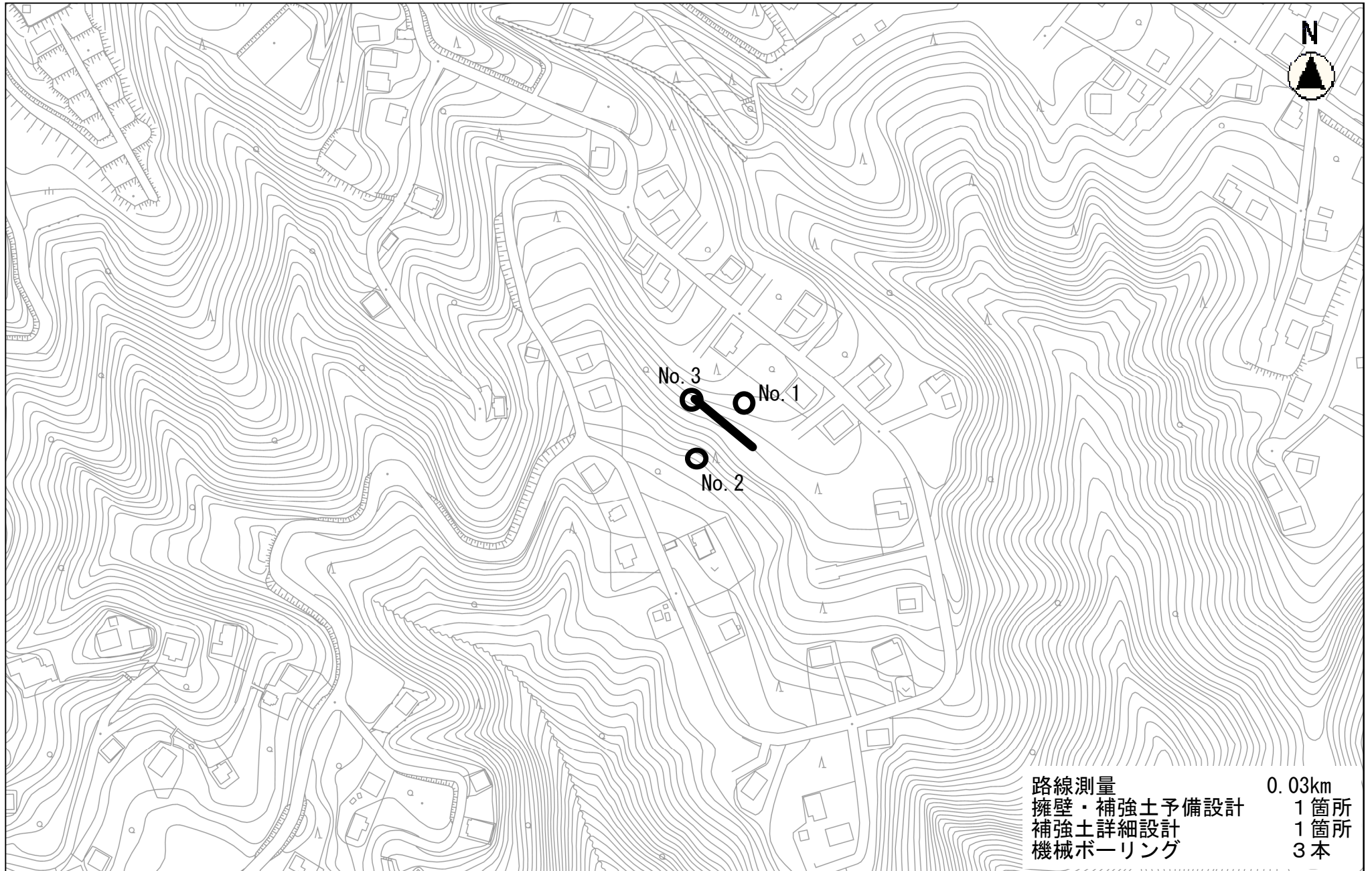
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
			擁壁・補強土	1箇所 簡略化できる	(箇所)式	1	
		一般構造物詳細設計			式	1	
			補強土 [テールアルメ、多数アンカー式擁壁]	スバリ安定計算を行う 1断面 現地踏査1箇所	(箇所)式	1	
共通					式	1	
	共通(設計業務)				式	1	
		打合せ等			式	1	
			打合せ	初回・納品 中間5回	業務	1	
直接経費					式	1	
	直接経費				式	1	
		旅費交通費			式	1	
			旅費交通費(率計上)(設計)		式	1	
		電子成果品作成費			式	1	
			電子成果品作成費(設計)		式	1	

ボーリング調査数量表

	ボーリング(m)			標準貫入試験(回)			仮設(箇所)		調査孔閉塞	給水費 (ポンプ運転)
	φ66mm						足場			
孔番号	礫混じり土砂	軟岩	計	礫混じり土砂	軟岩	計	平坦地	傾斜地 30° ~45°		
No.1	7.0	3.0	10.0	7	3	10	1		1	1
No.2	7.0	3.0	10.0	7	3	10		1	1	1
No.3	7.0	3.0	10.0	7	3	10	1		1	1
合計	21.0	9.0	30.0	21	9	30	2	1	3	3

※各数量については推定である。

# 青山高原保健休養地崩落法面詳細設計等業務委託



縮尺 1 231, 500

特記仕様書 (測量業務条件一覧表)

No.1

明示項目		明示事項 (条件及び内容)	
イ	業務計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 設計業務等委託契約書 <input checked="" type="checkbox"/> 測量業務共通仕様書 (三重県) 【令和3年11月制定】 部分改定を行った内容も含む (最新改定 年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共測量作業規程 (作業規程の準則 (平成20年国土交通省告示第413号、平成23年国土交通省告示第334号、平成25年国土交通省告示第286号、平成28年国土交通省告示第565号及び令和2年国土交通省告示第461号)により一部改正) 準用) <input type="checkbox"/> 用地測量及び用地調査等業務について、別途に定めがあるものは、それによる。 <input type="checkbox"/> 三重県土地改良事業測量作業規程 (農林水産省農村振興局測量作業規程準用) <input type="checkbox"/> その他 ( )	
ロ	成果の提出	<input checked="" type="checkbox"/> 契約締結後14日以内に測量作業計画書 (作業内容、作業工程表、業務従事者の氏名及び資格使用機器等を明記する。) を監督員に提出する。 <input checked="" type="checkbox"/> 業務完了の10日前までに数量報告書を監督員に提出する。 <input checked="" type="checkbox"/> 業務日報は、監督員が提出を要求したときすみやかに提出する。 <input checked="" type="checkbox"/> 本測量作業に使用する主要機器 (トータルステーション、トランジット、レベル、光波測距儀等) については、第三者機関で検定を行いその証明書の写しを測量作業計画書に添付すること。 <input type="checkbox"/> 本測量作業において基準点測量を実施する場合の既知点は、 ( <input type="checkbox"/> 既設の基準点 (1～4等三角点又は1～3級基準点) <input type="checkbox"/> 任意の基準点 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ( <input type="checkbox"/> 他業務において設置されている基準点) とする。	
エ	工程関係	<input checked="" type="checkbox"/> 作業完了後は、精度管理表を提出すること。ただし、監督員が必要ないと判断したものにについては除外する。 <input checked="" type="checkbox"/> 電子記憶媒体で提出すること。ただし、その仕様等については三重県CALIS電子納品運用マニュアル【令和4年7月改訂】によるものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 本業務における成果物の提出部数は、( <input type="checkbox"/> 3部 <input checked="" type="checkbox"/> (2)部) とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 指示する期日までに提出する成果物あり。(令和4年12月23日までに、全成果物) <input checked="" type="checkbox"/> 検査用として成果物の印刷物 (A4版簡易ファイル、年度・委託名・完成年月・受発注者名を明示、図面は袋とじ) を1部提出する。 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
オ	資料の貸与	<input checked="" type="checkbox"/> 発注者の貸与する資料は、次の資料とする。 令和2年度南白地第1-1号 青山高原保険休養地崩落法面測量業務委託 成果物	
カ	業務条件	<input type="checkbox"/> 業務条件は下記のとおりとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 電子メールを活用した情報共有を行う場合は予め打合簿にて監督員に報告を行うこと。実施方法については監督員の指示によるものとする。	
キ	その他	<input checked="" type="checkbox"/> 成果物の中で他の文献、資料等を引用した場合出典名を報告書に明記すること。 <input type="checkbox"/> その他	

- (注)
- 1 上記受託業務、事項、条件及び内容のレ印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
  - 2 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
  - 3 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打ち合せ等により協議するものとする。

津 市  
令和3年11月



特記仕様書（地質・土質調査条件一覧表）

No.1

明示項目		明示事項（条件及び内容）	
ア 適用図書	<input checked="" type="checkbox"/> 設計業務等委託契約書 <input checked="" type="checkbox"/> 地質・土質調査業務共通仕様書（三重県）【令和3年11月制定】 部分改定を行った内容も含む（最新改定 年 月） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
イ 業務計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 契約締結後 14日以内に業務計画書（工程表）を監督員に提出する。 <input checked="" type="checkbox"/> 業務完了の10日前までに数量報告書（工種、設計数量、実施数量等を記載）を監督員に提出する。 <input checked="" type="checkbox"/> 業務日報は、監督員が提出を要求したときすみやかに提出する。 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
ウ 成果の提出	<input checked="" type="checkbox"/> 電子記憶媒体で提出すること。ただし、その仕様等については三重県CALIS電子納品運用マニュアル【令和4年7月改訂】によるものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 本業務における成果物の提出部数は、（ <input type="checkbox"/> 3部 <input checked="" type="checkbox"/> （2）部 ）とする。 ※コアの提出要否（原則提出） <input checked="" type="checkbox"/> 指示する期日までに提出する成果物あり。（令和4年12月23日までに、コアを除く全成果物） <input checked="" type="checkbox"/> 検査用として成果物の印刷物（A4版簡易フレイムル、年度・委託名・完成年月・受発注者名を明示、図面は袋とじ）を1部提出する。 <input checked="" type="checkbox"/> 地盤情報データベースの登録の必要あり。 （検定及び登録機関：一般財団法人国土地盤情報センター（ <a href="https://ngic.or.jp/">https://ngic.or.jp/</a> ）） 検定料金は、（ <input checked="" type="checkbox"/> A検定 <input type="checkbox"/> B検定 ）により費用を計上。 ※受注後、これにより難い場合は設計変更の対象とする。 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
エ 工程関係	<input type="checkbox"/> 別途業務との工程調整の必要あり（別途業務名 ） <input type="checkbox"/> 関係機関との協議の必要あり（別途資料作成必要あり） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
オ 資料の貸与	<input checked="" type="checkbox"/> 発注者の貸与する資料は、次の資料とする。 令和2年度南白地第1-2号 青山高原保険休養地崩落法面詳細設計業務委託 成果物		
カ 業務条件	<input type="checkbox"/> 業務条件は下記のとおりとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 電子メールを活用した情報共有を行う場合は予め打合簿にて監督員に報告を行うこと。実施方法については監督員の指示によるものとする。		
キ その他	<input checked="" type="checkbox"/> 成果物の中で他の文献、資料等を用いた場合出典名を報告書に明記すること。 <input type="checkbox"/> 支援技術者 1. 本業務は現場における現場技術業務を【例示一（公財）三重県建設技術センター】に委託しているので、その支援技術者が監督員に代わって現場で立会、観察又は検測を行う際は、その業務に協力しなければならぬ。また、書類（計画書、報告書、データ、図面等）の審査に関し説明を求められた場合は、説明に応じなければならぬ。ただし、支援技術者は、設計業務等委託契約書第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾又は回答、協議等を行う権限は有しないものである。 2. 監督員から受注者に対する指示又は通知等を支援技術者を通じて行う場合には、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。 3. 監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、支援技術者を通じて行うことができる。 4. 本業務を担当する支援技術者の氏名は右記の通りである。 支援技術者：		
	<input type="checkbox"/> その他		

(注)

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のし印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市  
令和3年11月

特記仕様書（設計業務条件一覧表）

No.1

明示項目		明示事項（条件及び内容）	
ア	適用図書	<input checked="" type="checkbox"/> 設計業務等委託契約書	
		<input checked="" type="checkbox"/> 設計業務等共通仕様書（三重県）【令和3年11月制定】 部分改定を行った内容も含む（最新改定 年 月）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書（三重県）【令和2年8月制定】 部分改定を行った内容も含む（最新改定令和3年7月）	
		<input type="checkbox"/> その他（ ）	
イ	業務計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 契約締結後 14 日以内に業務計画書（工程表）を監督員に提出する。 業務完了の10日前までに数量報告書（工種、設計数量、実施数量等を記載）を監督員に提出する。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務日報は、監督員が提出を要求したときすみやかに提出する。	
		<input type="checkbox"/> その他（ ）	
ウ	成果の提出	<input checked="" type="checkbox"/> 電子記憶媒体で提出すること。ただし、その仕様等については三重県CAL S 電子納品運用マニュアル【令和4年7月改訂】によるものとする。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 本業務における成果物の提出部数は、（ <input type="checkbox"/> 3部 <input checked="" type="checkbox"/> （2）部）とする。 指示する期日までに提出する成果物あり。	
		<input checked="" type="checkbox"/> （令和4年12月2日までに概算工事費、令和4年12月23日までに全成果物） 検査用として成果物の印刷物（A4版簡易フレイアール、年度・委託名・完成年月・受発注者名を明示、図面は袋とじ）を1部提出する。	
		<input type="checkbox"/> その他（ ）	
エ	工程関係	<input type="checkbox"/> 別途業務との工程調整の必要あり	
		<input type="checkbox"/> （別途業務名： ）	
		<input type="checkbox"/> 関係機関との協議の必要あり（別途資料作成必要あり）	
		<input type="checkbox"/> その他（ ）	
オ	管理技術者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 管理技術者は、（ <input type="checkbox"/> 下記の者 <input checked="" type="checkbox"/> 下記のいずれかの者）とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 技術士 （ <input checked="" type="checkbox"/> 河川、鵜飼及び海津・海津 部門 <input type="checkbox"/> 河川、鵜飼及び海津・海津 科目、 <input type="checkbox"/> 部門、 <input type="checkbox"/> 部門・科目を問わない） <input checked="" type="checkbox"/> 上記の技術士と同等の能力と経験を有する技術者（技術管理者） <input checked="" type="checkbox"/> RCCMの資格保持者 （ <input checked="" type="checkbox"/> 河川、鵜飼及び海津・海津 部門、 <input type="checkbox"/> 部門を問わない） <input type="checkbox"/> 受注者の責任において定めた、業務の履行に必要な知識と経験を有する者	
		<input checked="" type="checkbox"/> 配置予定技術者届出書に記載した技術者を契約時に配置しなければならぬ。	
		<input type="checkbox"/> その他（ ）	

(注)

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のし印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市  
令和3年11月

## 特記仕様書（設計業務条件一覧表）

No.2

明示項目	明示事項（条件及び内容）
カ 照査技術者の要件	<p><input checked="" type="checkbox"/> 概略・予備・詳細設計等については、照査技術者を定めなければならない。</p> <p><input type="checkbox"/> 次の業務には、照査技術者を定めなければならない。 ( )</p> <p>照査技術者は、( <input type="checkbox"/> 下記の者 <input checked="" type="checkbox"/> 下記のいずれかの者 ) とする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 技術士  <small>河川、港湾及び海岸・海岸、河川、港湾及び海岸・海岸</small> 部門、 <input type="checkbox"/> 部門、  <input checked="" type="checkbox"/> 部門・科目を問わない )</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 上記の技術士と同等の能力と経験を有する技術者（技術管理者）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> R C C M の資格保持者  <small>河川、港湾及び海岸・海岸</small> 部門、 <input type="checkbox"/> 部門を問わない )</p> <p><input type="checkbox"/> 受注者の責任において定めた、業務の履行に必要な知識と経験を有する者</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ( )</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 照査は下記も含めて実施し、これに基づいて作成した資料は照査報告書に含めて提出しなければならない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 詳細設計照査要領（国土交通省大臣官房技術調査課監修（平成29年3月版））  <input type="checkbox"/> その他 ( )</p>
キ 打合せ等	<p><input checked="" type="checkbox"/> 設計業務等着手時及び成果物納入時（成果物案の打合せ時を含む）及び設計図書で定める業務の区切りにおける打合せには、管理技術者が出席するものとする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 中間打合せ回数は 5 回とする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 中間打合せについては、管理技術者が出席するものとする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 照査技術者については ( <input checked="" type="checkbox"/> 設計業務着手時 <input type="checkbox"/> 中間打合せ 回 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物納入時（成果物案の打合せ時を含む） ) の打合せに出席するものとする。</p>
ク 資料の貸与	<p><input checked="" type="checkbox"/> 発注者の貸与する資料は、次のとおりとする。  <small>（令和2年度南白地第1-2号 青山高原保険休養地崩落法面詳細設計業務委託の成果物）</small></p>

(注)

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のし印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

## 特記仕様書（設計業務条件一覧表）

No.3

明示項目	明示事項（条件及び内容）
ケ	<input type="checkbox"/> 業務条件は下記のとおりとする。 電子メールを活用した情報共有を行う場合は予め打合簿にて監督員に報告を行うこと。実施方法については監督員の指示によるものとする。
コ	<input checked="" type="checkbox"/> 成果物の中で他の文献、資料等を引用した場合出典名を報告書に明記すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計に採用する材料等について、「三重県リサイクル製品利用推進条例」に基づき認定リサイクル製品に該当する材料等がある場合は、採用を検討すること。 検討した結果、該当する材料等については、監督員と協議のうえ、成果物（設計図面、数量計算書等）の使用材料を表示する欄に「認定リサイクル製品」と記載すること。 <input type="checkbox"/> その他
ク	

(注)

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のし印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市  
令和3年11月

## 前金支払いに関する事項

請負代金の額が130万以上の契約において、受注者が公共工事の前払金保証事業に関する法律に規定する保証事業会社の保証を明示した場合で、市が必要と認めたときには、契約額の10分の3以内で、かつ当該支出予算の範囲内で前払いするものとする。

特記仕様書

特記事項	条件等及び内容
<p>暴力団等の不当介入の排除等</p>	<p>本市が締結する契約等からの暴力団、暴力団関係者、暴力団関係法人等(以下「暴力団等」という。)の不当介入を排除し、契約等の適正な履行を確保することに関し、必要な事項を定める。          なお、下記の内容における用語は、津市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱(平成27年津市訓第76号)において使用する用語の例による。</p> <p>1 受注者等の義務</p> <p>(1) 本市の契約等の相手方及び下請負人等(以下「受注者等」という。)は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。</p> <p>(2) 受注者等は、暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。</p> <p>(3) 受注者等は、暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。</p> <p>(4) 受注者は、本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに本市に文書にて報告するとともに所轄の警察署に通報し捜査上必要な協力をするものとする。この場合において、捜査上必要な協力を行ったとき、受注者は速やかに本市に文書にてその内容を報告しなければならない。</p> <p>なお、受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等の措置が必要となったとき、受注者は本市にて契約期間の延長等を求めることができる。</p> <p>2 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置</p> <p>入札参加資格者等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札参加資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準(平成21年4月8日施行)に基づき指名停止措置を講じるものとする。</p> <p>また、上記1の義務に違反した受注者等に対しても、同様に指名停止措置を講じるものとする。</p> <p>3 契約等の解除</p> <p>上記の暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。</p>
<p>配慮依頼事項</p>	<p>本契約を履行するにあたって、下記のことについて御配慮願います。          なお、本事項は、受注者の自由な協力をお願いするものであり、受注者が下記の内容に応じなかった場合に、受注者に対して、不利益を課すものではありません。</p> <p>1 下請契約又は再委託(一次下請以降のすべて)の下請負人又は再委託者を含む。)が認められた契約にあっては、下請契約又は再委託等において市内本店事業者を活用すること。</p> <p>2 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用すること。</p> <p>3 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすること。</p> <p>4 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用すること。</p>
<p>津市公契約条例</p>	<p>本市が締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図ることに關し、必要な事項を定める。          なお、下記の内容における用語は、津市公契約条例(津市条例第22号)(以下「条例」という。)において使用する用語の例による。</p> <p>1 受注者等の責務</p> <p>(1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。</p> <p>(2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。</p> <p>(3) 受注者等は、労働者に対し等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場における合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。</p> <p>(4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するときは、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用しよう努めなければならない。</p> <p>(5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。</p> <p>(6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者(以下「市長等」という。)が行う報告の求め及び立入検査その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。</p> <p>2 公契約の解除等</p> <p>市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。</p> <p>(1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。</p> <p>(2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。</p> <p>(3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。</p> <p>(4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。</p> <p>(5) 特定公契約にあっては、「労働環境の確保に係る誓約事項」に違反したとき。</p>

特記仕様書

特記事項	条件等及び内容
労働環境の確保に係る誓約事項	津市公契約条例(以下「条例」という。)第6条の規定により、下記の内容について了承し、遵守することを誓約します。 また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収については異議はありません。 1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令(次項において単に「関係法令」という。)を遵守すること。 2 関係法令に違反し、関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者(以下「市長等」という。)へ報告すること。 3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。 4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。 5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。 6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。 7 市長等が行う施策に協力すること。
新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等	本業務における新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等については、下記のとおり徹底を図るものとする。 1 業務の円滑な履行確保を図る観点から、業務の現場等のみならず関係する会社・事務所等も含め、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗いやがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。 2 新型コロナウイルス感染症については、特に、①密閉空間、②密集場所、③密接場面という3つの条件(以下「三つの密」という。)が同時に重なる場では、感染を拡大するリスクが高いことから、事務所等における各種の打合せ、更衣室等における着替えや食事・休憩など、多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業従事者と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。 3 感染拡大防止対策を実施するために追加で費用を要する場合は、設計変更の対象とするため、監督員と協議を行うこと。ただし、感染防止対策について業務計画書に記載した上で履行することを前提とする。 4 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「業務の一時中止や履行期間の延長」が必要な場合には、監督員と協議を行うこと。 5 作業従事者等が新型コロナウイルス感染症の感染者及び濃厚接触者(以下「感染者等」という。)であることが判明した場合は、速やかに監督員に報告すること。また、保健所等の指導に従い、感染者等の自宅待機などの適切な措置を講じること。 なお、感染者等であることが判明した場合は、本業務のみならず、受注者が本市と契約中の全ての業務について、一時中止の措置を行う場合がある。 6 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、受注者又は発注者は、履行条件、履行方法等に変更の必要があると認めるときは、津市設計業務等委託契約約款第19条(設計図書等の変更)の規定に基づき、発注者及び受注者が協議して、これを定めるものとする。この場合において必要があると認められるときは、履行期間若しくは業務委託料の変更の対象とするものとする。